

Curriculum 2026年度(予定) 変更になる場合があります

卒業に必要な単位:124単位
専門教育科目:70単位
全学共通科目:32単位
広域選択:22単位
必修:32単位
選択必修:8単位
選択:30単位

	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次
成長のプロセス	ネイティブ講師担当の「スピーチ・アンド・コミュニケーション」と「オーラル・イングリッシュ」によって実践的な英語運用能力を強化し、「英語演習」と「作品講読」で3年次から本格化する専門分野の研究において必要な基礎知識とリテラシーをじっくりと身につける。		多彩な特殊講義科目や演習科目のほか、自分の関心・興味に従って選択できる少人数の「3年次ゼミ」で深い専門知識と研究方法を学ぶ。	「4年次ゼミ」において3年次までの授業で学んだ研究をさらに深め、個人指導のもと4年間の学びの集大成である卒業論文に取り組む。
必修	- 英語演習 ① - スピーチ・アンド・コミュニケーションⅠ ② - 英語学概論	- 作品講読 ③ - スピーチ・アンド・コミュニケーションⅡ ② - 英語史 - 英語表現法 ④	3年次ゼミ	卒業論文
選択必修		- イギリス文学史Ⅰ - イギリス文学史Ⅱ - アメリカ文学史	この中から2科目を選択します。	
選択		- イギリス文学特講Ⅰ～Ⅴ - アメリカ文学特講Ⅰ・Ⅱ・Ⅳ・Ⅴ - 演劇特講(イギリス・アメリカ) ⑤ - イギリス文学演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅴ - アメリカ文学演習Ⅰ～Ⅴ	- 演劇演習(イギリス・アメリカ) - 時事英語 - 商業英語 - ギリシャ語 - ラテン語	- 外国文学 - 現代美術 ⑥ - 英米思想史 - 日本文化史 - 翻訳演習 ⑦
				- 英語学演習Ⅰ～Ⅴ ⑧ - オーラル・イングリッシュ - TOEIC®・TOEFL®講座 - キャリア・プランニング 4年次ゼミ
				英作文演習 ⑨

① 英語演習

英米文学を原文で読むには高い英語力が求められます。聞く、話す、読む、書くの4技能を総合的に学習し、英語力の基礎を固めます。発音やプレゼンテーションの練習も行います。

④ 英語表現法

日本人によく見られる英語表現の誤りを取り上げ、名詞、動詞、時制など項目別に講義します。日本語と英語の違いを理解し、正しい文法と語法を身につけ、自然な英語表現を学びます。

⑦ 翻訳演習

単語力だけではできない翻訳。この講義では、後期の前半まで翻訳技法をじっくり身につけ、後半では論文の一部や短編の物語を翻訳。直訳ではなく、日本語らしい翻訳を目指します。

② スピーチ・アンド・コミュニケーション

ネイティブ・スピーカーが講師となり、時事的なテーマをトピックにしてグループ・ディスカッションやプレゼンテーションを行います。ユーモアやジェスチャーについても理解を深めます。

⑤ 演劇特講(イギリス・アメリカ)

ブロードウェイをはじめ、独自の発展を遂げたアメリカ演劇。それを代表する2人の作家の作品を、映像や英文テキスト、当時の時代背景などから読み解き、面白さを探ります。

⑧ 英語学演習

現代英語の様々な特徴について理解を深めながら、ときには日本語や他言語との対照を行うことで、人間言語の個性や普遍性について考察します。

③ 作品講読

易しい言葉で書かれたものから複雑な心理描写を含む作品まで、英語の短編小説を幅広く講読。物語の構成や会話の背景に潜む意味、主題の読み取りなど、基本的な読解力を身につけます。

⑥ 現代美術

キュビズム、シュルレアリスム、ポップ・アートなど、20世紀以降の美術作品を鑑賞。技術革新やメディアの発達、環境問題など同時代の様相との関わりも含め、その変革をたどります。

⑨ 英作文演習

大学卒業後、社会人として適切な英語表現を使えるようになるために、ビジネス文書の読解・作成や電話応対等の会話トレーニングを行います。また、3年次以降の研究活動に必要な英語論文を読む力を鍛えながら、プレゼンテーションに役立つ表現を学びます。



中野 可奈さん
英米文学科 3年
埼玉県立越谷北高等学校 出身

Message

英語を専門的に学び、英語母語話者の考え方から生まれる表現を理解

文学作品を扱う授業では、日常会話だとあまり使われることのない表現や、アメリカ英語とイギリス英語の違いを知ることができました。作品を読むことよりも英語を学ぶことそのものに興味があつた私ですが、実際に授業を受けてみて、英語の理解を深めるたくさんのことを学ぶことができました。「英語学」を学ぶ中で一番面白いと思うことは、英語と日本語との比較、それぞれの母語話者の考え方の違いから

表現にも違いが生まれるところです。英語には曖昧な表現がありませんと言われることがありますが、例えばビジネスシーンなどで相手の責任の所在を明らかにしたい時はYouを主語に置いて文を使い、柔らかに問題点を指摘したい場合は主語に置かず受身の文にするなど、文脈によって使い分けています。今まで当たり前に使っていた英語も、改めて専門的に学ぶことで、「どんな理由があってそのような使われ方をしているのか」を理解することができます。

1 Week Schedule

[2年次] 後期

	Mon.	Tue.	Wed.	Thu.	Fri.	Sat.
1	英語表現法	英語ⅡBb		イギリス文学演習Ⅴ		
2	作品講読	英語史	イギリス文学特講Ⅰ	中国語スキルアップⅡb		
3		スピーチ・アンド・コミュニケーションⅡ	中国語ⅡAb			
4	英語学演習Ⅱ	アメリカ文学特講Ⅱ	イギリス文学史Ⅰ			
5				英語ⅡAb	中国語コミュニケーションⅡb	
6						